



ご存知ですか？

ヘルプカード

ヘルプカードとは？

障がいや病気のある人の中には、自分から「困った」となかなか伝えられない人がいます。一方で、困っている人に対して、「どう支援してよいかわからない」という声もあります。その「手助けが必要な人」と「手助けする人」をつなぐのが「ヘルプカード」です。

障がいや病気のある人にはこんな「困った」があります

災害のとき…



◆災害が発生したとき

- ・危険の察知が苦手だったり、パニックで動けなくなる人がいます。
- ・通常的手段では、的確な情報を得ることが困難な人がいます。

◆避難所などで一緒になったとき

- ・移動の際に支援や配慮が必要な方がいます。
- ・通常と異なる環境で不安定になったりする人がいます。

緊急のとき…



◆発作やパニックが起きたときや、病状が変化したとき

- ・発作やパニックを起こしたり、病状の変化などで急に倒れてしまって、自分の病気や障がいについて説明できない人がいます。

日常的に…



◆道に迷ったとき

- ・障がいのある人がずっと同じ場所にいるのは、もしかしたら、道がわからなくなってしまったのかもしれません。

◆公共交通機関などを利用しているとき

- ・内部障がいなど外見ではわからない障がいを持っていて、長時間立っているのがつらい人がいます。



障がいにはさまざまな特性があることをご理解ください

援助や配慮を必要としていることが外見でわからない人もいます

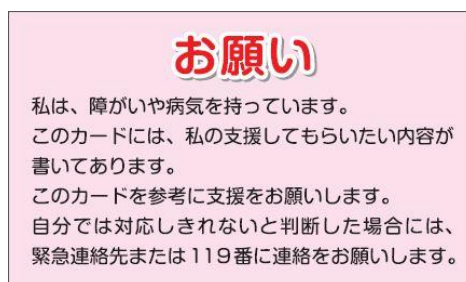
障がいや病気のある人が困っていたら…

「ちょっとした手助け」が障がいや病気のある人の安心につながります。

- ① ヘルプマークをつけている人は、支援や配慮を必要としています。
- ② ヘルプマークをつけた人がヘルプカードを持っていたら、ご本人の記述内容に沿った支援をお願いします。
- ③ 同じ目線で、おだやかな口調で、具体的に話しかけてください。
自分では対応しきれないと判断した場合は、速やかに緊急連絡先または119番にご連絡ください。



【表】



【裏】

ヘルプマークを知っていますか？

(援助が必要な方のためのマークです)



ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からはわからない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう作成されたマークです。

※巨理町では、ヘルプカードを持っている人にストラップ式のヘルプマークを配布しています。

【ヘルプカード対象者】

- ・障がいや病気（難病）をお持ちの方（手帳の有無は問いません）、高齢者、妊産婦など、援助や配慮を必要としている方

【ヘルプカード配布場所】

- ・巨理町役場 福祉課 ・巨理町図書館（悠里館） ・各地区交流センター（逢隈・吉田・荒浜）

ヘルプカードに関する問い合わせ・・・巨理町役場 福祉課 TEL：0223-34-1114